2024年7月5日 第1版

研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで 実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 産婦人科学教室

記

記					
研究の名称	不妊不育症、慢性子宮内膜炎疑い又は難治性細菌性腟症を対象とした腟子宮内環				
	境調査				
	研究実施許可日 (2025 年 4 月 21 日) から 2029 年 12 月 31 日までの期間に、不				
対象	妊不育症、慢性子宮内膜炎疑い又は難治性細菌性腟症と診断された患者さんの子				
	宮内膜・子宮内腔液を研究に利用いたします。本学では、200 例を予定していま				
	す。				
研究期間	研究実施許可日(2025 年 4 月 21 日) ~ 2029 年 12 月 31 日				
	(研究期間は 2030 年 3 月 31 日まで延長を予定しています。)				
	利用目的:この研究の目的は、不妊不育症、慢性子宮内膜炎疑い又は難治性細菌				
	性腟症患者の患者さんを対象として、子宮内フローラ環境(善玉菌と				
	悪玉菌のバランス環境)を検討することにより、子宮内フローラの検				
	査実施の有効性と安全性を調べることを目的としています。今回の研				
試料・情報の利用	究結果により、今後不妊不育症、慢性子宮内膜炎疑い又は難治性細菌				
目的及び利用方法	性腟症の患者さんの治療に役立つことが期待されています。				
	 利用方法:患者さんの診療情報と検体(子宮内膜・子宮内腔液)情報を抽出し解析 				
	を行います。抽出した診療情報や検体情報は、加工して個人を特定で				
	きないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌				
	で発表される予定です。				

利用又は提供の開始予定日:研究実施許可日(2025年4月21日)

利用し、又は提供す 試料:子宮内膜・子宮内腔液

る試料・情報の項目 情報:検査データ、診療記録等

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元するこ

利益相反について

て研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

とで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連し

研究者名

【研究責任(代表)者】

大阪医科薬科大学 産婦人科学

准教授

林 正美

参加拒否の申し出について

ご自身の試料(子宮内膜・子宮内腔液)や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします(対象者の代理人からの申し出も受付いたします)。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 産婦人科学

担当者 林 正美

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 56901

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学	学長	殿	
大阪医科薬科大学病	対院	病院長	殿

大阪医科薬科大学 研究責任者 林 正美 殿

研究の名称

不妊不育症、慢性子宮内膜炎疑い又は難治性細菌性腟症を対象とした 腟子宮内環境調査

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年	月	日	対象者	住所
				氏名(自署)
		※ご本	人が自署でき	きない場合は、代諾者の方がご記入ください。
				代諾者(続柄:
				住所
				氏名(自署)